

TOSHIBA

東芝浴室換気乾燥機取付説明書

形名
(局所換気タイプ)
DVB-18S2
(24時間換気タイプ)
DVB-18SS2

販売店・各種工事店さま用

バスドライ

日本国内専用品
Use only in Japan

この浴室換気乾燥機の注意事項をよく知っていたき、正しく取り付けいただくためにこの取付説明書をよくお読みください。

本製品の施工にあたっては、地域により防災上での制限（火災予防条例に基づく指導）がありますので、詳細は行政官庁または所轄の消防署にお問い合わせください。
(本製品は (社) 日本電機工業会で定める自主試験基準に適合しております)

本説明書は浴室換気乾燥機の取り付けと関連工事（建設工事）である大工工事、電気工事、配管工事などを区別して説明しています。
建設工事は関連する法令、規定に従って法的有資格者による工事が必要となります。流通業者（販売店）を通して浴室換気乾燥機の取り付けを行う場合は、建設工事部分と区別して行ってください。
この取付説明書は設置完了後、別冊の取扱説明書とともに必ずお客様にお渡しください。

特定保守製品に関するお願い

本製品は消費生活用製品安全法で定められた特定保守製品です。
特定保守製品とは、「経年劣化により安全上支障が生じ、一般消費者の生命または身体に対して特に重大な危害を及ぼすおそれが多いと認められる製品であって、使用状況からみてその適切な保守を促進することが適当なものとして政令で定めるもの」です。
付属の取扱説明書と所有者票（黄色ラベルが貼り付けてあるビニール袋に入っています）は、所有者（消費者、賃貸業者）に必ずお渡しください。
消費生活用製品安全法にて、特定保守製品の所有者は、製品の製造・輸入事業者（特定製造事業者等）に対して、所有者情報を提供する義務が定められています。

安全上のご注意

取付の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しく取り付けてください。
ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。
表示と意味は次のようになっています。

表示の説明

表示	表示の意味
	「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（＊１）を負うことが想定される内容」を示します。
	「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害（＊２）を負うことが想定されるか、または物的損害（＊３）の発生が想定される内容」を示します。

＊１重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび入院・長期の通院を要するものをさします。
＊２傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などをさします。
＊３物的損害とは、家電・家財および家畜・ペット等にかかわる重大損害をさします。

図記号の説明

表示	図記号の意味
	○は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。
	●は、指示する行為の強制（必ずすること）を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。

取付設置完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。また、この取付説明書は取扱説明書と共にお客様で保管いただくように依頼してください。

⚠ 警告	
	改造はしない 火災・感電・けがの原因になります。
	煙突排気の燃焼器具がある住宅に据え付けるときは、十分大きな空気取入口を別につける 排気ガスが室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こす原因になります。
	メタルラス張り、ワイヤラス張りまたは金属板張りの木造の造営物に金属ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電氣的に接触しないように取り付ける 漏電したとき、火災・感電の原因になります。
	内釜式風呂を設置した住宅には取り付けない 排気ガスが室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こす原因になります。
	電源は交流100Vを使う 交流100V以外の電源を使うと、火災・感電の原因になります。
	本体各部やリモコンに水や洗剤などをかけたり、吹きつけたりしない 漏電により火災・感電の原因になります。
	修理技術者以外の人とは、絶対に分解・修理（ ）をしない 火災・感電・けがの原因になります。 修理は、お買い上げの販売店または東芝家電修理ご相談センターにご連絡ください。
	アースは確実に取り付け、漏電遮断器を設ける 故障や漏電したとき、火災・感電の原因になります。 アースの取付は販売店や電気工事店を通じ、電気工事士へ依頼してください。
	SL端子のアース接続部には電源電線を接続しない 火災・感電の原因になります。
	取り付け・移設は、お買い上げの販売店または専門業者に依頼する 取付工事が不完全なときは、火災・感電・部品落下によるけがの原因になります。

⚠ 注意	
	電気工事・アース工事は電気工事士（ ）が行う 電気工事士以外の人が工事をする、火災・感電・けがの原因になります。 電気工事士への依頼は、お買い上げの販売店または電気工事店にご相談ください。
	本体は、十分に強度のあるところに確実に取り付け 落下によりけがの原因になります。
	浴室内にはリモコンを取り付けない 感電や故障の原因になります
	取り付け後、長期間使用しないときは、分電盤のブレーカーを切る 絶縁劣化による火災・感電の原因になります。
	製品の取り付けのときは、手袋を着用する 手袋を着用しないと、けがの原因になります。
	電源電線の接続は電気設備技術基準や内線規程に従って、安全・確実に行う 電源電線の接続は機械的な方法で確実に接続する 接続不良や誤った配線工事は火災や感電の原因になります。
	炎が接近したり、あたる恐れのある場所には取り付けない 火災の原因になります。
	本体カバーや部品は、確実に取り付け 落下によりけがの原因になります。
	電源電線は専用の分岐ブレーカー（20A）より配線する 他の機器と併用した場合、電源電線が発熱し火災の原因になります。
	ファンやヒーターに触れたり、指や物を入れない 感電、けが、やけどの原因になります。

取付上のお願

故障の原因となりますので、次のような場所には取り付けないでください。
1. 高温（40℃以上）になる場所
2. 台所など油煙の発生する場所
3. 有機溶剤やスプレーを使う場所
4. 腐蝕性ガスの発生する場所（温泉、プールなど）
5. スチームサウナ付浴室
本体を断熱材で覆わないでください。
次のようなダクト配管工事はしないでください。
風量低下や異音発生の原因になります。
(1) 極端な曲げ (2) 多数回の曲げ (3) 接続ダクト径を極端に小さくする (4) 排気口のすぐ近くでの曲げ

この製品は浴室の天井取り付け専用です。
標準適応サイズは1616サイズのユニットバスです。浴室が大きい場合、窓が大きい場合、タイル貼りの浴室、その他断熱が悪い場合、予備暖房・乾燥効果が減少します。
DVB-18SS2は住宅の24時間常時換気システムとして使用できます。
その場合には、居室と居室以外の部屋とを隔てている建具の換気経路（有効開口面積で100～150cm²）を確保する必要があります。
雨水や鳥などの侵入を防ぐためのフード（システム部材）などを取り付けてください。

製品の取り付けには下記のような規制がありますのであらかじめご確認ください。
・地域により防災上での制限（火災予防条例に基づく指導）が異なりますので、所轄の行政官庁または消防署にお問い合わせください。
・本製品は消防法基準適合品です。（（社）日本電機工業会で定める自主試験基準に適合しております）

排気ダクト

不燃材料をご使用ください。
専用としてください。

点検口

本体近くに本体の点検ができる点検口を設けてください。

本体カバー

本体カバー下方100mm未満の範囲には造営材等（乾燥させる洗濯物および吊り下げ用パイプを含む）を設けないでください。

浴室ドア換気用ガラリ（有効開口面積100cm²以上）

2本目の衣類吊り下げ用パイプを取り付けていただく乾燥時間が短くなります。
本体および衣類吊り下げ用パイプ（市販品）の設置は上図の寸法的位置に取り付けてください。
電源電線、リモコンコードは本体がおろせるように2m以上の余裕をもたせてください。（短いとメンテナンスできなくなります）
空気の入入口（浴室ドア換気用ガラリなど）を設けてください。
有効開口面積100cm²以上

製品寸法

本体

(単位mm)

リモコン

イラストはDVB-18SS2（24時間換気タイプ）

接続図

消費生活用製品安全法（消安法）に基づく表示

付属品	
トラスタッピンねじ	4×20（排気口取付用）...1本
シンワッシャーねじ	4×40（本体取付用）.....6本
皿タッピンねじ	4×35（リモコン取付用）.....4本
リモコンコード	5m.....1本

取り付け方法

取り付け前に本体に異常音、変形などの異常がないか確認してください。
取り付け時、板金部品の端面で手を滑らせる手が切れる場合がありますので手袋を着用してください。
製品を天吊りする場合は天吊補助枠DBT-18SS2（別売）を購入し、取付方法は天吊補助枠の取付説明書で確認してください。

取り付け前の準備

1 本体の取付方向・位置を決めます。
本体取り付けの推奨位置は右図の通りです。
吹出グリルの向きは4方向に変えることができます。

2 浴室の天井に410×285mmの開口部を設けます。
天井板が塩ビ鋼板の場合には、開口部に錆び止め処理を施してください。
3 天井板に本体取り付け用下穴6カ所と排気口取り付け用下穴1カ所をあけます。
ユニットバス天井裏に1mm以上の厚みの金属製補強材が取り付けられている場合は天井板と金属補強材を下穴加工（3）し、天井面側に切りくずなどが残らないよう注意してください。
4 内寸が右図の寸法となるように天井補強材を設けます。
補強材は天井板を含め35mm以下としてください。
これ以上厚くなると、施工・メンテナンスができません。

5 製品の質量（6.3kg）に十分耐えるように、補強材は天井にしっかりと固定してください。

本体の取り付け

天吊補助枠「DBT-18SS2（別売）」による取付方法は天吊補助枠の取付説明書をご覧ください。

1 排気口を天井板の下穴に合わせて付属のトラスタッピンねじ（1本、4×20）で固定します。
2 本体を開口部と排気口にそれぞれ水平に押し上げ、本体上面の溝と排気口の上部の引っ掛け部がはまり込むように本体を取り付けます。また、排気口の下部の爪（2カ所）を本体フランチ角穴に通します。

3 付属のシンワッシャーねじ（6本、4×40）で確実に固定します。

本体カバーの取り付け

1 本体カバーからフィルターをはずします。
2 吹出グリルの凸部が洗い場側にならない場合は、吹出グリル凸部を洗い場側になるように取り付けてください。
3 本体カバーに付いているねじカバー（4個）をはずし、あらかじめ取り付けしているトラス小ねじ（4本、M4×10L）で本体カバーを固定してください。
4 フィルターを洗い場側から差し込みます。

5 ねじカバーの支持部を引っ張ったり、曲げるなどの力を加えないでください。
本体カバーのねじ固定は必ず手締めで行ってください。
電動ドライバーなどで強く締め付けると、本体カバーが割れることがあります。

ダクトの接続

ダクト（不燃材料）を排気口にしっかりと差し込んで風漏れのないようテーピングします。

6 ダクトは室外側を下げて取り付けてください。（勾配1/100～1/50）
ダクトは排気口に力が加わらないようにしてください。
ダクト配管工事は管工事業者へ依頼してください。

電源の接続

⚠ 警告 電源は単相AC100Vを使用する

⚠ 注意 電気工事・アース工事は電気設備技術基準や内線規定に従って、電気工事士が行う
アース工事はD種接地工事に基づいて確実に行う
電源電線の接続は確実に
電源電線は専用の分岐ブレーカー（20A）より配線する
アースを確実に取り付け漏電遮断器を設ける

専用の漏電遮断器を設置の場合は、過電流保護兼用で定格電流20A、高感度高速形（定格感度電流15mA・動作時間0.1秒以下）のものをお選びください。
天井のふところがない場合、電源接続は本体取り付け前に行うか、あらかじめ点検口付近まで配線を行ってください。

配線図

太線部を配線してください。
電源電線・アース線は2m以上の余裕をもって配線してください。

より線は接続不良により発熱の恐れがあるため使用しない
SL端子は、1.6または2mmの単線専用です。

電源の接続（つづき）

⚠ 警告 SL端子のアース接続部には、電源電線を接続しない。

1 ねじ1本をゆるめSL端子カバーを開けます。
2 電源電線を接続します。
SL端子にAC100Vの電源電線（VVFケーブル1.6または2mm）の芯線を確実に奥まで強く差し込んでください。
電線先端の皮むき寸法は15mmです。
電線外皮は30mmむいてください。
3 SL端子のアース識別ラベルをはがし、アース接続部にアース線を接続します。
4 SL端子カバーを閉じて、ねじで固定します。
5 電源電線とアース線を固定します。
コード止めのねじをはずし、電源電線とアース線をまとめてコード止めにはさみ、はずしたねじで締め付けます。
6 付属のリモコンコードを本体側のリモコン用接続コードに接続します。
7 リモコンコードをリモコン取り付け位置まで配線します。

リモコンの取り付け

取り付け前の準備

準備するねじ
スイッチボックスに取り付ける場合
4×20L 皿ねじ（標準タイプ：3本、照明タイプ：6本）
市販標準品
壁に取り付ける場合
4×35L 皿タッピンねじ（4本）付属品
リモコンコード（製品本体同梱品、有効長5m）
・リモコンコードの長さが足りない場合は、別売の応用部材「リモコンコード、DBC-18S（有効長10m）」をご使用ください。また、製品本体同梱品のリモコンコードに接続して延長することはできません。
・本体側に約2m余裕をもって配線してください。（本体側結線時に天井からコードを降ろすことがあります）

2個用スイッチボックスに取り付ける場合

1 壁に市販の2個用スイッチボックスを埋め込み、リモコンコードを配線します。
2 マイナストライバーをリモコンカバー下部の溝に差し込んで、リモコンカバーをリモコン取付板からはずします。
3 リモコンコードをリモコン取付板の穴に通した後、リモコン取付板をスイッチボックスに市販の皿ねじ（3本）で固定します。
4 リモコンコードをリモコンカバーのコネクタに接続します。

5 リモコンカバーをリモコン取付板にはめ込みます。

壁に直接取り付けする場合

1 壁に25mmの穴をあけ、リモコンコードを配線します。
2 リモコンカバーをリモコン取付板からはずします。
3 リモコンコードをリモコン取付板の穴に通した後、リモコン取付板を付属の皿タッピンねじ（4×35、4本）で壁に固定します。
4 リモコンコードをリモコンカバーのコネクタに接続します。
5 リモコンカバーをリモコン取付板にはめ込みます。

7 以上で取り付け完了です

試運転

試運転前に
試運転の前にもう一度、電源電線・リモコンコードの接続を確認して、AC100Vの分電盤ブレーカーを入れて試運転を行ってください。

電気工事が終わりましたら結線が間違っていないか確認して、取扱説明書の使いかたを参照し、正常な運転ができるか、また、本体の取付けが確実に振動・異音がないことを確認してください。

1 電源ブレーカーを入れます。
2 取扱説明書にしたがい、「換気」「乾燥」「予備暖房」「涼風」が正常に運転するか確認します。
運転開始や運転モード切り換え時は、リモコンボタンを押してから10～30秒後に運転を開始します。
3 本製品には自己点検機能があり、リモコンの運転ランプの点滅で異常内容を表示します。
表示とその内容

表示	異常内容	処置
全てのランプが点滅	200V印加	100V電源を接続し、再度ブレーカーを入れてください。
タイマー（1H）ランプが点滅	本体とリモコンの通信異常	リモコンコードとリモコンの接続を確認してください。
ボタンを押してもランプが点灯しない	リモコンコードの異常	リモコンコードとリモコンの接続、リモコンコードの断線を確認してください。

製品本体の取扱説明書にもその他のエラーコードとその対応が記載されてます。あわせて確認してください。
処置をしても症状が変わらない場合は、電源を切ってお買い上げの販売店に点検・修理をご依頼ください。

東芝キヤリア株式会社